

令和5年8月8日

大山町議会議長 米本 隆記 様

大山町議会議員 小谷 英介

大山町議会議員派遣報告書

1	目的	鳥取県町村議会議長会主催の広報研修会 議会広報の編集知識習得のため
2	派遣場所	三朝町「涇泉閣」
3	期間	令和5年8月7日（月）13時～16時
4	派遣議員	小谷議員・池田議員・大森議員・吉原議員
5	報告	<p>【内容】</p> <p>(1) 議会だよりの編集方針、レイアウト、見出しなどの基本的編集スキル (2) 優良事例や地域事例の解説</p> <p>1 住民への情報提供のタイミング 研修会で強調された政策決定「前」の情報提供の重要性が、住民を単なるお客さんではなく、一緒に考え、議論する住民にしていくという考え方は、今後の議会活動においても非常に参考になるものと感じた。→決定した内容のお知らせだけであれば、「広報だいせん」に任せておけばよい。議論の過程や決まる前の情報が大事</p> <p>2 見出しとレイアウトの工夫 見出しやレイアウトに対する具体的な指導は、広報物のクオリティ向上に繋がると感じました。</p> <p>3 地域事例の活用 寄居町などの具体的な地域事例の紹介は、実際の広報活動にどのように反映させるかのヒントになりました。寄居町の住民カウントなどは、住民とのつながりを強化するための実践的な方法として印象に残りました。大山町の一般質問ページについて、フリガナをつけるべきだというアドバイスをいただきました。</p> <p>4 その他の注意点 ・文章にするほどのことはないキャプションは意味がない</p>

	<ul style="list-style-type: none">・レイアウトフォーマット用紙を広報委員皆に配る・補正予算など重要なものを2～3点強調して掲載する（クローズアップ方式） <p><総括></p> <p>本研修会を通じて、広報活動の質を向上させるための多岐にわたる指針と具体的事例を学びました。今後の議会広報の活動において、これらの学びを活かし、住民とのコミュニケーションを一層深化させる努力をしてまいります。</p>
--	---